

	<b>号外</b> 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	コロナ禍で職場の第一線で踏ん張っている全職員が実感できる賃金改善を！安心して働ける職場環境へ！
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

# 2022県人勧闘争④ 明日、ヤマ場交渉日

## 9.30 人事委員会事務局長交渉

### 賃金改善 職員全体の賃金水準の底上げを 通勤手当 ガソリン価格高騰を踏まえ改善を

岩手県地方公務員共闘会議（議長：佐藤工 岩教組委員長）は、県人事委員会勧告を巡り、月例給・一時金の水準向上、ガソリン価格高騰を踏まえた通勤手当の改善、休暇制度の拡充、長時間労働是正策をはじめとした要求事項への前進回答に向けて、9月30日（金）にヤマ場となる事務局長交渉を行う。

交渉の前段では、全職場で取り組んだ『人事委員長あて大型ハガキ署名』を手渡し、職場の切実な声を届け、職場実態を訴える。

#### 《 事務局長交渉のポイント 》

要求課題	現状・交渉経過	地公共闘の要求
月例給・一時金の改善	<b>【国人勧】</b> 月例給：若年層に配分 一時金：勤勉手当0.1月引上げ <b>【人事委員会9/20回答】</b> 昨年と比べて大きく好転しているとは感じない。	・依然として県職員の初任給は民間より低く差も大きい。 ・物価上昇等は全世代に影響。コロナ禍においてどの職場も大変な思いをしている。年代や職種を限定した引上げは現場にそぐわない。全体の底上げを求める。
高齢層職員の勤務意欲確保策	<b>【現状】</b> 55歳昇給抑制など給与水準の抑制のみならず、5級最高号給に留まっている職員が相当数存在。 <b>【人事委員会9/20回答】</b> 重要課題と認識するも、「任命権者と意見交換を行い、実態把握しているところ」と具体策示さず。	・「業務量は増えても給料は上がらない」ではモチベーションは保てない。業務量に見合った給与を！ ・高齢層のモチベーション低下が若年層へのしわ寄せとなっている。具体的な改善策が必要。 ・激務の現状のままでは60歳以降も安心して働けない。

要求課題	現状・交渉経過	地公共闘の要求
通勤手当の改善	<p>【現状】 ガソリン価格の高騰により、長距離通勤者を中心に自己負担額が増加している。</p> <p>【人事委員会9/20回答】 ガソリン価格の動向を踏まえながら、職員の通勤状況、他県の動向を併せて分析中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞報道等からは今後も価格上昇が予想される。改善に向けた見直しが必要。</li> <li>・他県と広い県土を有する県内の状況は違う。県内でも内陸より沿岸が高いなど、独自の課題を踏まえた検討を。</li> </ul>
長時間労働の是正	<p>【現状】 超勤時間の上限規制など様々取り組まれているが、長時間労働は解消されていない。保健所をはじめコロナ対応で超勤時間が倍増。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の見直しや効率化だけで超過勤務を減らすことは、すでに限界を超えている。人員確保にシフトした対策を任命権者に求めるべき。</li> </ul>
会計年度任用職員の賃金水準	<p>【現状】 過去の勧告では、一時金の引上げは勤勉手当、引下げは期末手当で行われてきた。勤勉手当が支給されない会計年度職員には引上げが反映されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃金水準を考えた場合、会計年度任用職員も一時金引上げが反映される制度であるべき。</li> <li>・期末手当での引上げ、勤勉手当（人事評価非対応）の支給など対応が必要。</li> </ul>
労働安全衛生の充実	<p>【現状】 精神疾患による長期療養者が増加傾向。特に若年層が急増。療養期間も長期化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患急増の要因は多忙化している職場環境にある。業務工夫を職場に求める一方で電子決裁など新たな業務も。職場全体が連鎖的な悪循環に陥る。悪循環を断ち切るために、改善を実感できるような実効性ある対策が必要。</li> </ul>
休暇制度の拡充	<p>【現状】 キャリアアップ休暇 勤続15年：3日 勤続25年：5日</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定年引上げにより勤続年数が長期化される。勤続35年を加えるなど、キャリアアップ休暇の拡充を。</li> </ul>

## 大型ハガキ“一言要求” 届け！職場の切実な声

- 職員の勤務意欲確保のため、職場実態を踏まえた賃金改善を要求します（北上）
- 物価と一緒に給料も上げてほしい（久慈） ○手当改善による自己負担の軽減を（気仙）
- 職員の勤務意欲を減退させないこと（胆江） ○職員の増員を求める（二戸）
- 超勤実態を把握・検証し、適正な人員配置、業務縮減などの改善を促すこと（花巻）
- 広大な県土を有する本県の特殊事情踏まえた通勤手当の改善を行うこと（県庁）
- 働き続けられる職場を実現するため、介護休暇や看護休暇の日数増を求める（一関）
- 55歳昇給抑制は職責に見合った賃金とは言い難い。勤務意欲につながる改善を（盛岡）